

# 2015年！あけましておめでとらございます！

毎月5日発行！  
こどもの国地域  
情報誌！

KUNIMAGA



国マガからのごめいさつとお年玉！

みなさま、あけましておめでとらございます！ 本年も国マガをよろしくおねがいいたします！

今年はこの町にとって記念すべき年。二〇一五年の五月五日は「こどもの国」の開園五十周年記念日です。僕が生まれて物心ついたところからここに「こどもの国」ですが、元は旧陸軍の弾薬庫。戦後、現在の天皇皇后両陛下のご成婚を記念して園として整備されました。五〇年前のこの町の風景と、今の風景ではとても違ってしまうでしょう、住んでいる人も移り変わったでしょう。

そう考えると五〇年って、とても長い時間のように感じられますが、それも一年一年の積み重ねの結果なわけですね。二〇一五年、実りある一年にしていきたいと背筋が伸びます。

一方、みなさまが今お読みになっている『国マガ』は、二〇一三年の三月にスタートしたので、今年の三月で二周年を迎えることになりました。最初は二十部を手配りで知人に渡していた本誌も、今では四〇〇部を発行するようになりました。去年一年間だけでも、感想のお便りを頂いたり、新しく置いて欲しいと店舗様から話があったり、ウェブのニュースに取り上げられたりと、様々なことがあって本当に嬉しかったです。今年もメンバー一同、よりおもしろく、ちよつと笑えて、町へのふとした「気づき」がたくさん詰まった誌面を作っていきたいと思えます。

さて、みなさまへの日頃の感謝をこめて、新年のお年玉プレゼントキャンペーンを実施！ 本誌裏面の中央下にあるウェブアンケートに答えると、抽選でQUOカード五〇〇円分、『国マガ年鑑』、本誌連載おぎぬまX先生の漫画『おぎぬまXの挑戦』をそれぞれ抽選で二名様プレゼント！ お待ちしております！



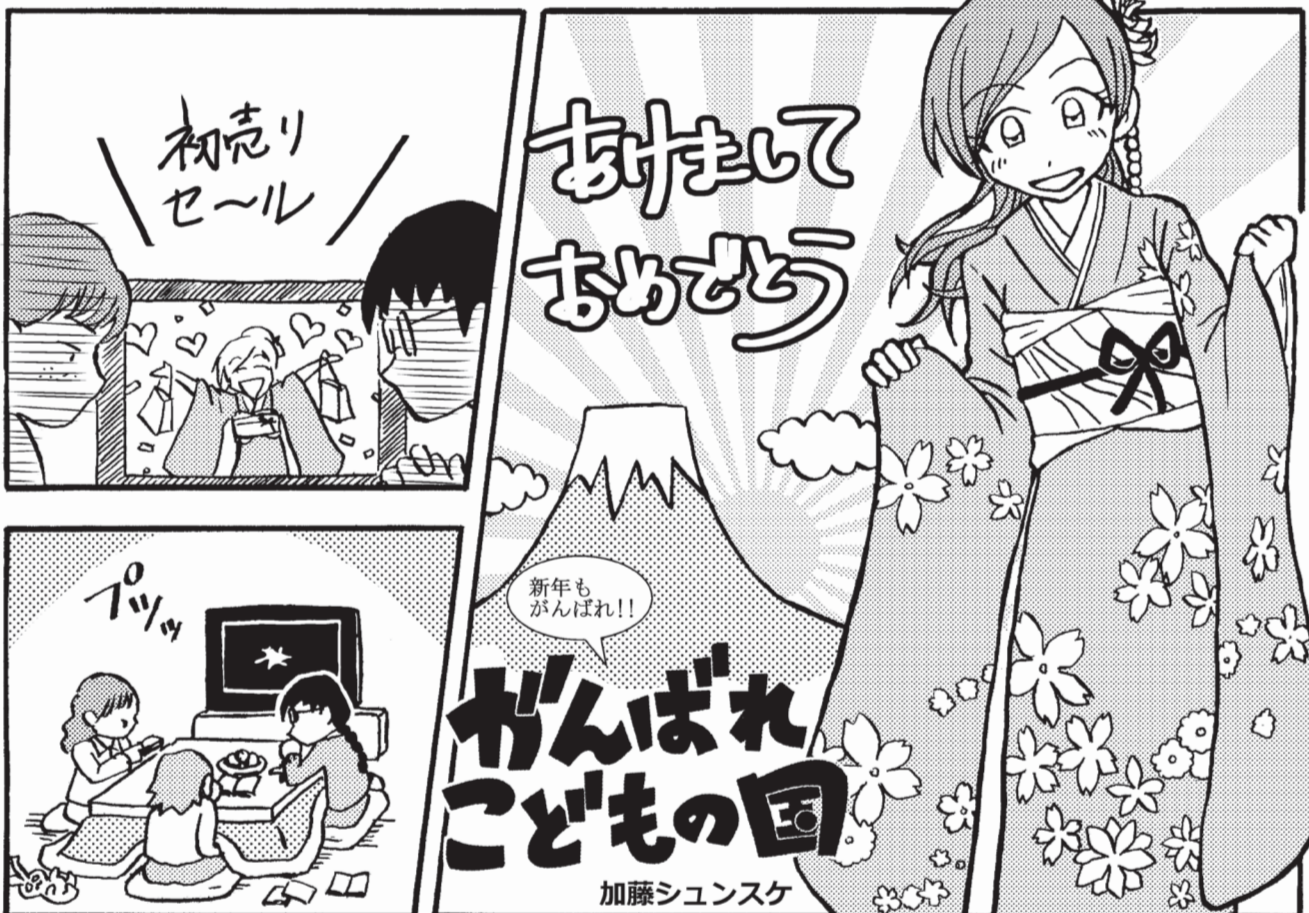
↑これがこどもの国の「ジャンボ鏡餅」だ！ 12日まで！



## 「ちゃんど、大人」の正月考〜正月なんて祭り後〜

新年おめでとらございます。今年も羊年です。この干支には一年間を平穩無事に「恙なく」過ごすことができるようにと願いが込められています。国マガ読者の無病息災を心よりお祈り申し上げます。しかし、新しい年になったからといって一体何が変わるというのか。……これもこれで、正月の集まりに無理やり連れてこられた反抗期のティーンネイジャーみたくだ。これは、日本郵便が「ちゃんと、年賀状。ちゃんと、大人」。これは、日本郵便が今年の年賀状の宣伝コピーとして打ち出したものだ。それに対して、毎年賀状を一枚も出さないアラサー独身男としては、ちゃんと挨拶する大人のような、生意気な子どものようなスタンスを表明したい。それでも「大人」から年賀状が届けられ、冷や汗をかきことになる。結局、オレは、年賀状を出さない言い訳をしたのだな。

さて、正月という、もう祭り後といった感がある。私にとっての「祭り」は、大晦日の年が変わる瞬間だ。テレビ中継に対し「何がカウントダウンだ、タイムズ・スクエア」と



冷静なコメントをしつつ、その瞬間を絶対に逃すまいと時計を睨んでい。日付のカウンターがカチッとリセットされるのは、単純なことと分かっていながらも、その瞬間を目撃しないと気が済まない。それは、見ている非常にスリリングな瞬間だが、これは、テトリスの、スコアの上限「99999」を超えて「0」にもどる時の気持ち良さには似ている。

に思えてきた。

そんなわけで、日付がスタート地点にもどってしまう正月は、燃え尽きており、「テトリス・灰」状態なのだ。更に言えば、実家と目と鼻の先に住んでいる者にとって、帰省したとしても、「いつも会ってるじゃん」となるだけで、正月気分にならない。こんな独身者は、正月も通常運転なものを気持ちの寄り処にする。それは、休まず動くトラック野郎を支えるラジオ、ピンポイントで正月を採り上げない月刊誌、そして、「まめまめしく働けますように」とかお節介なダジャレと無関係な牛丼屋である。

一説によると、あのブロックを消すとい単純作業の連続は、脳を催眠状態にし、トランス状態を引き起こすのだという(ほんとかよ)。これを「テトリス・ハイ」というらしい。そうか、この年越しカウントダウンの異様な高まりは、金太郎郎のようなミニマルな日々の連続の行き着く先なのだ。すると何だか、昨年一日一日が急につまらない日々だったよう

たので、「誰も来ないだろう」と思っていたが、驚くべきことに休日の常連客がぞろぞろ開店に合わせて来店してきたのだ。今、その顔を思い出してみると、少し寂しげな独身風の者ばかりだ(失礼)。今、私はそれに近い。危機を感じてきた。よし、今年も、ちゃんと年賀状を書いて、積極的に正月に参加することしよう。

## コラム 育ち 引込線

サリ志村



分かつて、これは悲しいことである。学生時代、町田のレコード屋でバイトをしていたときのことだ。この店は、休み知らずのスーパー西友のビルに入っていたため、それに合わせ正月も通常営業だった。しかも、正月の特別セールなどをやるわけでも無かった。今、私はそれに近い。危機を感じてきた。よし、今年も、ちゃんと年賀状を書いて、積極的に正月に参加することしよう。



COPPET (コペ)



パン販売 7:30～19:30  
カフェ営業 9:00～18:00  
定休日 水曜  
駐車場有 (2台)

◆青葉台の老舗  
こどもの国住民が買  
い物や食事に足を運ぶ  
場所と言えは青葉台。  
今回は青葉台駅から徒  
歩10分、桜台交差点に  
ある老舗ベーカリー  
『COPPET (コ  
ペ)』をご紹介します。こ  
ちらはオープンから30年  
の有名店。MONT (モ  
ン) のご主人が修行し  
たお店でもあります。  
店内にはさまざまなパ  
ンが並んでいて、その  
数約50種類！カフェス

ペースもあり挽きたてコーヒーや紅茶を飲みながら買ったパンを食べることが出来ます。お客さんの中には親子3代にわたっての常連さんもあるそうです。国マガ読者にもこのパンが好物な方は多いのではないのでしょうか。たくさんの人に愛されるコペのパン。そのおいしさの理由を店長に聞いてきました。

◆半分は優しさで出来ている？

現在の店長は12年前にお店を継いだ奥山さん。16歳の時にパン職人を志し、その道一筋のベテラン職人さんです。さっそくパン作りに心がけていることをたずねると、「いつも優しい気持ちで笑顔で作る」との答え。小麦粉と酵母の発酵で出来るパンは毎日の温度や湿度で仕上がりが変わってしまう生き物。それならば愛情を持って手を抜かず丁寧に作ることがおいしいパンを作る一番の方法だということなんです。愛情を込めて作った数あるパンの中から店長オススメを教えてくださいました。

イチオシはシンプルに「クリームパン」。なぜなら店長が好きなパンだから。昔ヤマザキパンのクリームパンを食べた時、一口かぶりついてもクリームにたどり着かなかった店長のガツカリ経験からしっかりクリームが入っています。実際に食べてみるとパンとクリームのバランスがばっちり。クリームもほどよい優しい甘さ。これが愛情の味なんだなあ。

◆あなたのオススメは？

パン屋ってワクワクしませんか？いつもトング片手にどれにしようかと楽しく迷ってしまっています。今回はみなさんのおいしいコペのパンがあれは国マガ感想アンケートやツイッターなどで是非教えてください。お待ちしております！



短編小説

この年の記憶 安原マヒロ

こころ

過ぎていくものは、いつも東にして、くくっている。真新しい制服たちをすり抜けていったゆるんだ風に、小さな穴を空けて、くる。激しい日差しがようやく消えた夜の街灯の涼しさも、くる。気がつけば鮮やかに色づき、間違えようもなく時が流れていることを知った街路樹も、くる。そうして、たくさんくくって、いつの間にか厚くなった束を見て、これだけのものが私の前に立ち現れては消えたのだと、感じる。こうして一年のどろりとした雪の日の夕方の群青色のように、だんだんと色を濃くしながら降りていく。

果たして年は明け、新聞のテレビ欄も、近所の家族と交わす挨拶も、まるで全てが新しくなったようになるのだけど、私の中には年の暮れの群青色が、薄めた絵の具のようにずっと伸びている。それは今に始まったことではなくて、木造の小学校に通っていた、まだ頬が紅色の頃からそうなのだけれど。だから「あけましておめでとう」と孫に言われて、おめでたいふりをしてみても、私はくくった厚い束が気になって仕方がない。若い頃は、こんなにくりくり続けていると、そのうち歳をとってから、束の重さで押しつぶされてしまうのではと不安になったものだが、意外と大丈夫なようで、今でも束は溜まり続けている。

お年玉のぼち袋を渡してあげれば、目の前ではしゃぐ孫娘を見ていて、どうしてこんなにまっさらなのだろうか、心から不思議な気持ちになる。それは、この皺だらけの顔と手と足で、厚く厚くなった束を引きずる私もまた、かつてはこのようにまっさらだったのだという不思議さ。

珍しく降り注いだ雪も止み、元旦の日はうつつすらと町を青色に落としていった。孫娘を乗せた息子夫婦の車を外まで送り、その紅い灯りが交差点の向こうに消えれば、一月らしい冷たさが頬をつねった。

私は足りなくなった年賀はがきを買うために、コンビニエンスストアへと歩き出す。くるまった紺色のコートは、もう二十年近くになるだろうか。これはまだ私の旦那である人が生きていた時で、久々に銀座の松坂屋に行って、買ってもらったんだ。あの人は鼠色よりも紺色がいいよと言ってくれた。この色で良かったと、私は今でも思っている。口の中に、あの帰りに食べた鰻のどろりとした味が広がる。くくったことは、こうして今も続いている。

コンビニエンスストアへの道を遮る赤の点滅に、歩を止める。夜のとぼりを強く照らしながら、二両の電車がゆっくりと走ってくる。ふと見あげる。眼に映った、窓際に立つ若い、短い髪の女の眼差し。ああ、あれは私と同じ、くるくる人の眼だ。どこかの駅に向かわなければいけないのは仕方ないけど、向かうその途中にあるものを取りこぼしたくない、そんな眼差し。私もまた、残さなければ。私の中のくくった束たちが、通り過ぎていく電車の風を浴びてざわめく。私は、くくりを少しづつ解きながら、文章をしたためよう。不意に、そして必ずやたどり着くことであつたかのように、それを決意した。

国マガ配布店舗様

- こどもの国地区
    - ・コンビニ「スリーエフ・こどもの国駅前店」
    - ・パン「MONT」
    - ・カフェ＆ランチ「おぐに」
    - ・歯科「こどもの国歯科」
    - ・そば「なごみ」
    - ・イタリアン＆バー「Bacchus」
    - ・コーヒー「GRIVE」
    - ・ケーキ＆喫茶「セントポーリア」
    - ・焼肉「はち」
  - 奈良北地区
    - ・本・文具「昭和書房」
    - ・パン「Coonie」
    - ・とんかつ「かつ元」
  - 青葉台地区
    - ・パン「COPPET」
    - ・接骨院「あつぷる鍼灸接骨院」
  - 田奈地区
    - ・不動産「太平プラン」
  - 町田市
    - ・古着「ULTRABO」
- (敬称略・順不同)

お年玉懸賞アンケート！  
・QUOカード500円分  
・「国マガ年鑑」  
・「おぎぬまXの挑戦」  
QRコードからアンケートに答えて応募しちゃおう！  
http://inf.to/9UD

国マガ年鑑発売中！  
★去年1年間の『国マガ』の歩み『国マガ年鑑』！「Coonie」「GRIVE」「昭和書房」「スリーエフ・こどもの国店」「MONT」で販売中！



STAFF

- 加藤 シュンスケ** (代表) 会社員/イラストレーター (@kato\_two)  
あけましておめでとう！年越しを共に迎えた国マガメンバー！明治維新もかくや！幕末の志士の如く意見をぶつけあい、国マガと共に闘う事を誓いました！(おぎぬまXはインフルエンザのため欠席)
- サリー志村** 編集者 (@shimamuramasari)  
昨年のベスト。映画はクリント・イーストウッド『ジャージー・ボーイズ』、マンガは田中雄一『まちあわせ』、音楽はディアンジェロ『ブラックメシア』。まだ迷っていますが、とりあえずこれで！
- オオキ 長男** (@OhQute)  
新年おめでとうございます。2015年、国マガをもっと面白くしてより多くの人に読んでもらいたいですね。何かイベントが出来たらいいなとメンバーでよく話のですが、その時は読者のみなさん来てくれますか？
- おぎぬまX 元芸人** (@oginuma\_x)  
皆様、あけましておめでとうございます！毎年、チビッコにお年玉を払うのが嫌なので、家で飼っているグッピーが亡くなる度に喪中と言いつつ張りまくります。うわあ、がんばろ。
- 安原マヒロ** ウェブ編集/ライター (@MahirOrihaM)  
あけましておめでとうございます。新年は国マガメンバーとその周辺15名近くで鍋を囲みつつ迎えました。これも立派な我が町の資産なんだなあ、としみじみ。